

# 上溝まちづくりビジョン

文化と自然でつながるまち 上溝



KAMIMIZO



KAMIMIZO



KAMIMIZO

令和4年8月  
上溝地区まちづくり会議  
協力：神奈川県立上溝南高等学校

## もくじ

I	上溝まちづくりビジョンの策定にあたって . . . . .	P1
	■まちづくりビジョン策定の背景と目的 . . . . .	P1
II	上溝地区を取り巻く現状 . . . . .	P2
	■地区の地域特性と課題 . . . . .	P2
	■地区の潜在力と誇れる部分 . . . . .	P5
III	まちづくりの方向性 . . . . .	P8
	■まちづくりのコンセプト . . . . .	P8
	■まちづくりの方針 . . . . .	P8
IV	まちづくりのアイデア . . . . .	P9
	■「賑わう元気なまち」をめざして . . . . .	P9
	■「住みよい育みのまち」をめざして . . . . .	P11
	■リーディングプロジェクト . . . . .	P13
V	まちづくりビジョンの推進に向けて . . . . .	P14
	■推進体制 . . . . .	P14

### 付属資料

- まちづくりビジョン策定経過
- 上溝地区まちづくり会議委員（令和2年度～4年度）

## I 上溝まちづくりビジョンの策定にあたって

---

### ■まちづくりビジョン策定の背景と目的

上溝地区において、市民と行政が一体となってワクワクするまちづくりを進めていきたい。

こうした思いから、上溝地区まちづくり会議では、上溝を住みよいまちにするために、日々、情報共有や話し合いを進めています。

どのようにして人を呼び込むまちづくりを進めていくのか、どうすれば上溝を笑顔あふれる、安心・安全に暮らせるまちにすることができるのかを様々な視点で話し合ってきました。

また、次代を担う若い世代の意見や思いも上溝のまちづくりに活かしたいと考え、県立上溝南高等学校の生徒さんとのワークショップを重ねて、色々な取組のアイデアを提案していただきました。

今回策定した「上溝まちづくりビジョン」は、地域や学校等と連携しながら、上溝地区として実現させたいまちの将来像をまとめたものであり、まちづくりを推進する指針とします。

## II 上溝地区を取り巻く現状

### ■地区の地域特性と課題

#### 【都市計画・都市整備】

上溝地区は、市の南北を結ぶ交通の拠点であり、地区内に上溝駅、番田駅の二つの駅があるなど交通の要所となっています。しかしながら、相模線は単線であり運行本数が少なく、利用者にとって不便な状況となっており、複線化の実現が課題となっています。

また、駅前の活性化のための駐車場や大型商業施設の誘致や、上溝駅周辺には学校や学習塾が集まっているため、図書館やまつり会館の誘致なども今後検討すべき課題となります。



JR 上溝駅

#### 【産業・観光・商店街】

上溝地区においては、上溝夏祭りやだるま市、酉の市などの伝統行事が行われていますが、「縁起物のまち」としてのアピールが不足しています。SNSなど新しい時代の情報ツールを活用したアピールも積極的に活用していく必要があります。



溝のだるま市

また、大型の施設がないため、まちの特色があまり見られません。多くの人に訪れてもらうためにも、大型車両の駐車スペースを確保する必要があります。

人を呼び込める施設として横山公園を活用していく必要があります。

## 【地域コミュニティ】

近年、自治会加入率が低下し5割を下回っていることは、地域コミュニティの形成にとって大きな課題となっています。自治会活動の魅力や災害時の対応力など、自治会に加入したくなる新たなメリットを打ち出す必要があります。

特に、若い世代の定住促進のための仕組みとして、「地域に関わる教育活動」を進めている大学や地区内の高校との関わりを持っていくことが必要となります。



交通キャンペーン

## 【住環境・生活環境】

一般ごみの収集が週2回となり、集積所の周辺にゴミが散乱するケースも増えています。ゴミ出しの曜日や時間を守ってもらうための呼びかけだけでなく、市民の意識を高める必要があります。

上溝地区は道路交通の要所であり、各方面へのアクセスができる反面、慢性的な渋滞が課題となっています

バス路線の見直しや自転車専用レーンなどの整備による自転車利用の促進などにより自家用車に代わる交通手段を確保することなど、渋滞を緩和させる必要があります。



上溝駅前通り

## 【自然・環境】

道保川公園や横山丘陵緑地など、自然環境豊かなスポットについて知名度が低く、園路状況が悪いなどの課題があります。アメリカザリガニやウシガエルなどの外来種駆除を進めながら、ホタルの生育環境を整えるなど、上溝にある自然環境をアピールしていく必要があります。

また、近年多発しているゲリラ豪雨や台風による被害に備えることや、川の氾濫に備えた河床整備など、災害対策を進める必要があります。



道保川公園

## 【安全・安心】

コロナ禍において、収容可能人数が減少することへの対応や毛布等の提供可能な物品の充実など、避難所の環境改善が求められています。

旧来から上溝に住んでいる「地の人」の割合が減っていることなどにより、地域団体の担い手不足が課題となっています。消防団員の不足などによる地域のコミュニティ不足が進んでいます。



住宅地を流れる姥川

## 【教育・子育て】

子育て世代とも言える「住宅購入世代」が定着しない要因を知り、その改善を図るためにも、子育て世代に対する理解を深めるとともにサポートしていく必要があります。

核家族化や親世代の地域活動への参加の減少などにより、子どもが他者と触れ合う機会が減っています。子ども会での活動に地域と関わる機会を増やすなど大人と子どもの交流を増やす必要があります。

## ■地区の潜在力と誇れる部分

### 賑わうまち

【都市計画・都市整備】【産業・観光・商店街】【文化・スポーツ】を中心に

～．

地区の中心に駅があり、人が集まりやすく、公共交通の便もよくなっています。また、子どもが多く、各学校の連携が強くなっています。学習塾も多くあります。

道保川公園や横山公園、上溝さくら公園など、それぞれに特色を持った公園があります。街区公園も地区内のいたるところに分布しています。



メインストリートの歩道は広く歩きやすく、人にやさしい、ふれあいの商店街があり、朝市も定期的開催されています。

歴史のあるまちとして、市内で唯一開催されているだるま市、市内で2か所のみ開催している酉の市、県北最大規模の祭りといわれる上溝夏祭りなどの伝統行事があります。

## 元気なまち

【道路・交通】【健康・福祉・医療】【地域コミュニティ】を中心に

～．



鉄道駅が2つあり、バスターミナルから始発のバスも出ていることや、道路も細かく行き渡っているため交通の便がよく、圏央道のインターチェンジからも比較的近いことから、様々な交通手段により都心にアクセスができます。

鉄道駅は2つの高校の生徒をはじめ、若い世代が多く利用しています。

福祉施設や医療施設が充実していて、安心して歳を重ねられるとともに、百歳

体操やサロンなど、高齢者が集える場づくりが進んでいます。

地域コミュニティについて、「ALL上溝」により地域団体が協力し合うなど、団体間がつながる土台があります。また、小中高校と地域のつながりも広がりつつあります。

## 住みよいまち

【住環境・生活環境】【自然・環境】【安全・安心】を中心に

～．

道保川公園にはホテルが生息するなど、豊かな自然に恵まれています。また、カワセミなどのバードウォッチングに適した環境もあります。四季折々に楽しめる地域の行事がたくさんあります。

福祉施設や医療施設、高齢者が集える施設が多く、施設も行事に協力するなど、高齢者が安心して暮らす環境が整っています。



また、高校が2つあり、生徒や学生も多く、博物館やJAXAも近いなど、文教施設に恵まれています。平坦な地形で自転車による移動が便利です。



## 育みのまち

### 【教育・子育て】【生涯学習】を中心に

～．

地区社協や子ども会など、子どもを見守る組織の活動が盛んです。子どもたちも、子ども会や夏祭りの囃子連で活動しています。学校で高齢者の方が子どもに教えるなど、地域とのつながりがあります。また、豊かな自然環境を活かし、自然と触れる学びができます。

保育施設や学校、公民館、学習塾などが多く、子どもが集まりやすい環境があります。

夏祭りを通じて、子どもたちが文化の継承をするなど、地域の意識が芽生える土壌があります。どんと焼きや観音様、縁日などの伝統行事や馬頭観音などの地域資源を活用した取組を進めることができます。



### Ⅲ まちづくりの方向性

#### ■まちづくりのコンセプト

上溝地区の地域特性、潜在力を踏まえ、本ビジョンのコンセプトを定めます。

## 文化と自然でつながるまち 上溝

伝統文化と多様な自然がつながり、人と人がつながるまち。そして次の世代へとつないでいくまちをめざします。

#### ■まちづくりの方針

ビジョンの検討にあたって、まちづくり会議において話し合ったグループを基にまちづくりの方針を定めます。

#### 賑わう元気なまち

- ・笑顔や活気にあふれるまち
- ・人が集まりたくなるまち
- ・子育て中のお母さんが元気なまち
- ・若者が参画するまち

#### 住みよい育みのまち

- ・自然豊かでやさしいまち
- ・交通安全に取り組むまち
- ・働くお母さんにやさしいまち
- ・遊びながら、生涯学べるまち



## IV まちづくりのアイデア

### ■「賑わう元気なまち」をめざして

上溝の伝統行事、地域行事や歴史あるまちをPRするとともに、来訪しやすい環境整備を進めます。地域活動への若い世代の参加を促す取組を進めます。

項目	まちづくりのアイデア	取組主体
笑顔や活気にあふれるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特色や文化を積極的にアピールします。</li> <li>・上溝城遺跡をPRし、将来観光地として成立するために、歴史関連のイベントを開催します。</li> <li>・横山公園に来訪者用の駐車場を整備します。</li> <li>・学生やアーティストの作品を展示します。</li> <li>・SNSを活用して地域の魅力を情報発信します。</li> </ul>	商店街 学生 地域住民 公民館 行政
人が集まりたくなるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗、シャッターを活用したアート空間や訪れた人が一緒に撮影できるフォトジェニックスポットを創出します。</li> <li>・ダイエーなどの民間企業と連携を図り、店舗屋上でのバーベキューやビアホールの開催、花火鑑賞スペースを提案します。</li> </ul>	商店街 学生 地域住民
子育て中のお母さんが元気なまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代の交流の場をつくります。</li> <li>・父親の地域活動への参加を呼びかけます。</li> <li>・子育て支援の上溝地区版LINEグループを立ち上げ、子育てに関する情報共有を図ります。ポイントがたまるような仕組みを検討し地域の商店街での活用を進めます。</li> </ul>	地域住民 商店街 地区社協
若者が参画するまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上溝夏祭りでの学生神輿だけでなく、サンマ祭りやさくらまつりといった地域のイベントへの参加を呼びかけます。</li> <li>・上溝南高校で行っている地域連携活動が、地区内の他の学校にも広がるように呼びかけます。</li> <li>・子どもたちの活動の発表の場を提供します。</li> <li>・学生が主体的に企画するイベントを推し進めます。</li> </ul>	地域住民 地区連 学生

## ～上溝南高校の生徒が考えた「私たち(若者)にできること」その①～

### 活力・交流

- ◆“高校生目線“の情報発信
- ◆バンダパンダまつりの輪を広げる
- ◆テーマソングを作る
- ◆Youtube チャンネル開設
- ◆学校の部活動等の発表する機会を増やす
- ◆まちづくりワークショップに参加する若者を増やす
- ◆動物園を作りたい(広報活動頑張ります！)
- ◆酒まんじゅうを広める
- ◆橋本リニアモーターカーのイベント
- ◆商店街で人を呼び込むイベント
- ◆ギオンスタジアムでスポーツイベント
- ◆学生やアーティストのアート作品を展示
- ◆草むしり、保育園のお手伝い、落書き落としなどのボランティア活動
- ◆インスタや Twitter などの SNS を利用し宣伝
- ◆地域の特産物を使った新商品作り(木彫りのパンダなど)
- ◆新しいスポーツを作りギネスに挑戦、宣伝して人を呼び込む

### 共生・健康と協働

- ◆交通量の多いところにパンダの絵で飛び出し注意
- ◆地域活動への参加(お祭り、ホテル観賞会)
- ◆ラジオ体操に参加する
- ◆博物館とライトトラップ実施
- ◆道路整備を市に呼びかける
- ◆バリアフリーを市に呼びかける
- ◆自治会加入呼びかけ
- ◆横断歩道止まれの足あとマーク
- ◆近所の人と挨拶
- ◆近隣の学校でミーティング



## ■「住みよい育みのまち」をめざして

上溝の自然環境を保全するとともに地域資源としての活用を図ります。交通安全や防災への取組を進めるとともに、交通渋滞の解消を図ります。

項目	まちづくりのアイデア	取組主体
自然豊かでやさしいまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川清掃や外来種のザリガニ駆除などによりカワナノ育つ環境を維持し、道保川公園のホタルを保全します。</li> <li>上溝にある河川や丘陵、公園などの自然環境を活かし、気軽に自然体験ができる地区としてPRします。</li> </ul>	地域住民 学生 行政
交通安全に取り組むまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車通行帯の整備促進を行政に働きかけます。</li> <li>交通事故多発地点を分析して、個別具体的な事故防止対策を推進します。</li> <li>平坦な地形を活かし、自転車のまちとして歩行者と自転車が安全に通行できる環境を促進します。</li> </ul>	商店街 学生 地域住民
働くお母さんにやさしいまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園、学童保育のさらなる充実を図ります。</li> <li>「母親サポーター」を育成し、日々の食事作り、病気の際の支援を推進します。</li> </ul>	地域住民 地区社協
遊びながら学べるまち 生涯学べるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子でモノ作り体験ができるイベントを開催します。</li> <li>上級生が下級生に勉強を教えるなど子ども同士でのタテの交流ができる環境整備を進めます。</li> <li>大学の出張講座を上溝開催できるよう働きかけます。</li> <li>大工、電気屋さんなどの専門業種を「地域の先生」として育成し、後継者を育てます。</li> </ul>	地域住民 地区連 公民館 学生 商店街

## ～上溝南高校の生徒が考えた「私たち(若者)にできること」その②～

### 安全・安心と住環境

- ◆ゴミ拾いを小中学生にも参加してもらい地域交流の場にする
- ◆暗くなったら出歩かない
- ◆ポイ捨てしない、歩きスマホをやめさせる、路上喫煙の禁止を呼びかける
- ◆生物探求部としてホタルの保全活動に参加する
- ◆清掃活動への参加(自然を守る)
- ◆騒音対策として木を植える
- ◆見守り当番、街灯を増やす
- ◆信号の設置を呼びかける
- ◆ホタル観賞会への参加
- ◆森林のごみ拾いへの参加
- ◆アートを地面や壁に展示し不法投棄を減らす
- ◆老人ホームに行く

### 子ども・学び

- ◆子どもの行動にいちゃもんをつけない⇒自分達の意識を変える
- ◆職業体験で子育て関係の職種を増やす
- ◆図書館の利用を増やす
- ◆高校生や中学生が自分より年下の勉強を見てあげる
- ◆交流の場を作る
- ◆市民会館や公民館を勉強スペースとして利用できるようにする
- ◆学校の一時開放
- ◆児童館、公民館での学生ボランティア(地域の子ども教室)
- ◆大きな公園でたくさんの方々と交流会
- ◆研究発表会
- ◆キャラクターのショー



## ■リーディングプロジェクト

まちづくりビジョンの実践にあたって、向こう3年を目途に地域で取り組む項目をリーディングプロジェクトとして推進します。

### ～笑顔輝く 上溝みらいプロジェクト～

#### 自然発見プロジェクト

- ★道保川公園でザリガニ釣り大会を開催します。
- ★「(仮称) 上溝の自然を愛する会」を設立し、除草や清掃活動など身近な環境保全活動を行います。
- ★上溝さくら公園の四季や動植物を紹介するリーフレットや「上溝地区の花百景」を作成します。

#### 子育て安心プロジェクト

- ★子育て講座や子育て学級を開催し、卒業生による子育てサークルを設立します。
- ★父親参加のイベントとして、凧上げやクリスマスリース作りなど季節にちなんだ作品作り体験教室を開催します。
- ★子育て支援のLINE グループにより地域で使えるポイントを付与します。

#### 学生参加型プロジェクト

- ★部活動の発表の場を地域で創出します。
- ★学生による商店街シャッターアートやフォトジェニックスポットを企画します。
- ★地域の清掃活動など地域活動に学生が参加できるよう呼びかけます。

## V まちづくりビジョンの推進に向けて

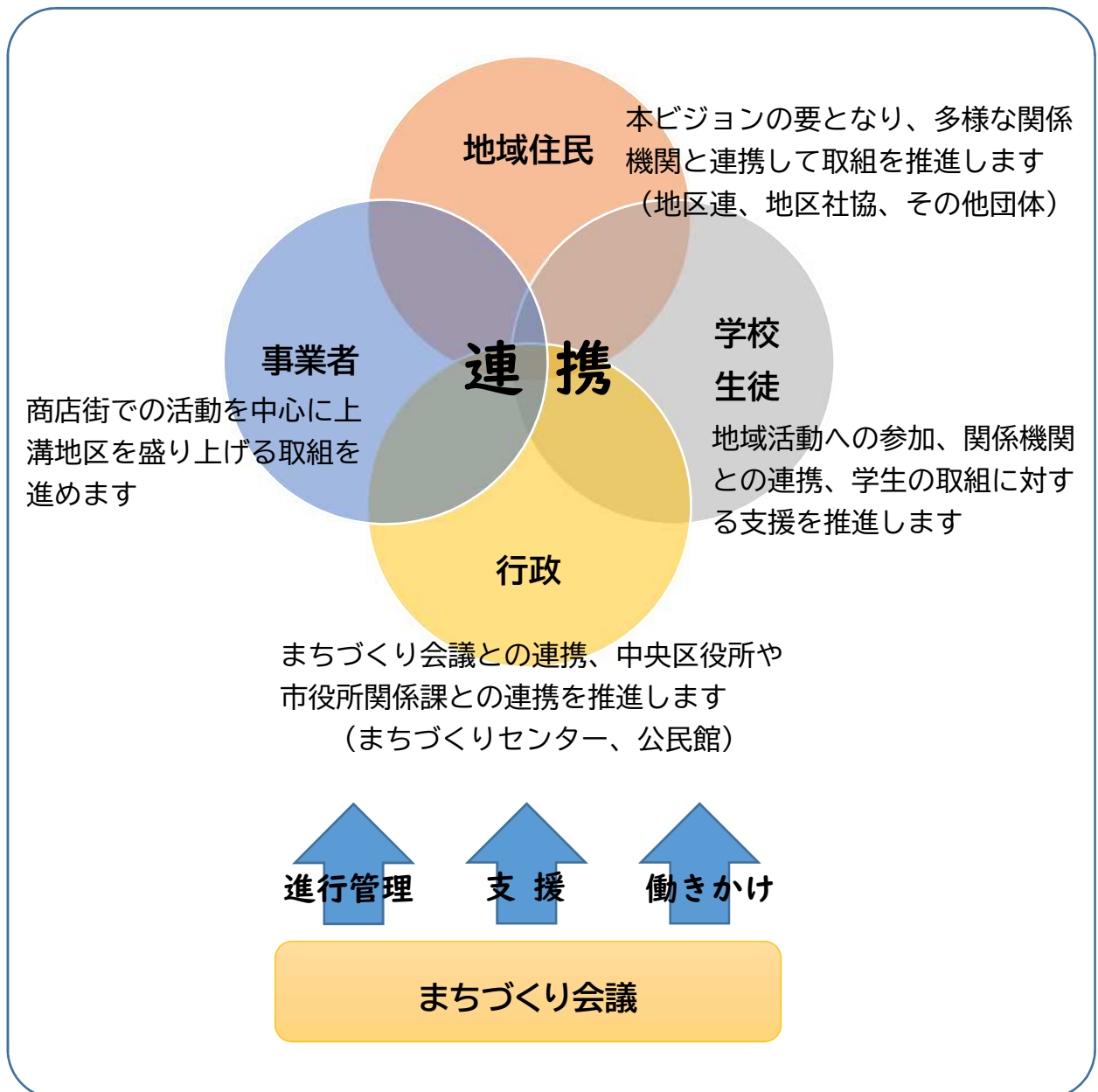
### ■推進体制

本ビジョンに掲げる、まちの将来像の実現には、上溝地区に関わる全ての関係者が、上溝地区の地域特性、潜在力について理解を深め、行動することが重要です。

そのため、地域住民や事業者、学校、行政がそれぞれの役割のもとに、連携してビジョンを推進します。

まちづくり会議では、ビジョンの進行管理と推進支援及び各主体への働きかけを行います。

ビジョンを推進する主体と役割





## 付属資料

### ■まちづくりビジョン策定経過

#### (1) まちづくり会議の開催経過

開催日	会議内容	委員出席数
令和2年 10月5日(月)	上溝地区の現状と課題について	20名
12月7日(月)	上溝のいいところ・潜在力について	16名
令和3年 3月24日(水)	理想的なまちの姿と実現に向けて取り組むべき方策について	18名
6月21日(月)	ビジョンの目玉となる取組について	20名
10月4日(月)	ビジョンの骨子案について まちづくりのアイデア・具体的な取組について	14名
12月6日(月)	ビジョンのコンセプトとリーディングプロジェクトについて	14名
令和4年 5月24日(火)	ビジョンのコンセプト案について	22名
8月23日(火)	まちづくりビジョンの素案について	15名

#### (2) 上溝南高校ワークショップの開催経過

開催日	会議内容	参加生徒数
令和2年 11月16日(月)	自分のまちの好きなところ・いまいちなところ	13名
令和3年 3月17日(水)	住みたいまち、訪れたいまちってどんなまち？	15名
6月8日(火)	私たちにできることって、どんなこと？	14名
令和4年 5月20日(金)	かみみぞのキャッチフレーズを作ろう！	13名

■上溝地区まちづくり会議委員（令和2年度～4年度）

団体名称・役職等		氏名
上溝地区自治会連合会	会長	小林 充明
	副会長	紺野 宏人
	副会長	亀崎 武
上溝地区社会福祉協議会	会長	磯 隆司
上溝地区民生委員児童委員協議会	副会長	中島 今子
上溝公民館	館長	根岸 利昌
上溝地区子ども会育成連絡協議会	会長	金光 みどり
上溝小学校PTA	副会長	鈴木 優二
	会長	(R3)船木 杉頼
上溝南小学校PTA	副会長	小山 龍次
	顧問	(R2)亀崎 俊昭
上溝中学校PTA	会長	高橋 和也
	副会長	(R3)市毛 達雄
	会長	(R2)川道 英弘
上溝南中学校PTA	会長	佐々木 新悟
	会長	(R2)小嶋 広明
上溝地区青少年指導委員協議会	青少年指導委員	吉澤 健次 (R3)市丸 克己
上溝地区スポーツ推進委員		安藤 政彦 (R3)佐々木 新悟
上溝地区老人クラブ連合会	会長	清水 宏
上溝地区ボランティアグループ	代表	雫 幸一
相模原市消防団中央方面隊第一分団	分団長	久保田 充
交通安全協会上溝支部	支部長	小川 志郎
防犯指導員		萩原 昭夫
防災専門員		中村 秀夫
		(R3)齋藤 輝夫
上溝商店街振興組合	理事長	鈴木 崇之
	専務理事	森 仁
上溝地域包括支援センター	センター長	佐藤 浩史
	理事長	(R3)佐藤 和夫
上溝みらい創生委員会 小田急多摩線延伸・上溝駅開設推進協議会	事務局長 総務部長	大野 健一
神奈川県立上溝南高等学校	校長	坂本 聡志
	校長	(R2)大沢 利郎
相模原中央保護区保護司会	会長	清水 洋子

## 上溝まちづくりビジョン

発行：令和4年8月

編集：上溝地区まちづくり会議

協力：神奈川県立上溝南高等学校

連絡先：上溝まちづくりセンター

〒252-0243

神奈川県相模原市中央区上溝 7-7-17

TEL 042-762-5626